

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

あん

日付 平成 20年 6月 27日
特定非営利活動法人

評価機関名

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「あんたAさん？ 私もAよ。名前は？」と聞かれた人が「スミコ」と答え、「ええ名じゃなあ」と言ってくれた。満更でもない顔しながら「ええもんか！ 私は6番目で親がもう子供はええからで、スミコにしたんよ」を返して、二人で笑い転げる。デイサービス利用のひととホームの入居者の二人のAさんは仲良かった。「Aさんと呼ばれたら、自分の事かと思うて、ドキッとしたらちごうとった」と言っでは又笑う。食卓のイスでも、窓際の長ソファでも、何時も二人は並んで座っている。朝9時頃になると、ホームの住民達はデイサービスに行く準備をして、職員と一緒に1階のデイサービスフロアに降りて来る。2階のグループホームには誰も居なくなる。デイサービスの利用者達と一緒に食事して、入浴も済ませ共に過ごし、4時過ぎになるとホームに帰るのが日課になっている。初めてホームに来た私には、どの人がグループホームの入居者で、どの人がデイサービス利用者か区別がつかない。デイサービスとホームの職員が利用者達の支援にあたるので、手厚いサービスが提供出来ている。デイサービス利用者との親睦を楽しみ、ほどよく疲れ、ホームに帰って夕食を済ませると、皆寝付きも良いそうだ。「折角お風呂に入ったけど糊まぶれになります」と言いながら貼り紙に精を出す人に、何時もデイサービスに来ているのか聞いた。「いいや、私は仕事で来とります。貼り紙のパートをしとります」と言われた。「わしはここへ塗り絵の仕事に来とるんじや。ジャブジャブ遊びに来とるんじやない」と言いながら、ずっと塗り絵をしている男性もいた。草抜きが好きで草が生えていると気になる人は、天気の良い日は土の上にゴザを敷いて周囲の草取りをする。昔ちぎり紙を教えていた人や、バスケットボールの選手だった人は、ちぎり紙や貼り紙・ボール遊びを楽しむ。その人のやりたい事や好きな事をちゃんとデイサービスにも取り入れている。「利用者一人ひとりを把握して、その人に合った仕事を探す様心掛けています。一つだけでいいから、その人が没頭出来る事や、興味を持てる事を見付けてあげたい」と管理者は言う。自分に出来る仕事があれば、そこにその人の居場所が生まれる。毎日デイサービスに遊びに行く事で生活にメリハリをつけ、そこの作業を通して生き甲斐を持たせている。デイサービスと上手く連携させた支援が、このホームの大きな特色となっていた。

特に改善の余地があると思われる点

地域の代表者、学校や幼稚園の代表者、老人会の代表者等、全部揃わなくても、例え一人でも良いからホームとの関わりについてお願いしたり、話す事から始めて、徐々に和を広げていくようにして、運営推進会議につないでいって貰いたい。余り形式に拘らず、ホームに誰か来て貰い、お茶でも飲みながら話し合う事でも良いと思う。是非頑張って欲しい。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：日常、利用者に対しケアしている事実は申し分ないが、このホームのケアとサービス提供の特長を示す目標(理念)を作り、誰が見ても「このホームはこんな事をしているの！利用者とかんな楽しみを持っている」という事を明確にしておく、職員も共有化出来、家族も地域の人もよく理解してくれる。</p> <p>2、全体的に見て…：デイサービスを運営していた地元出身の代表者は、高齢者が増えていく実情に際し、地域のニーズを感じ、グループホームを立ち上げた。常に利用者の立場に立ったサービス提供に努め、地域との結びつきを重視し、市町村や保健・医療・福祉サービス機関と連携していく事を、運営方針として掲げている。その人その人に合った声掛けをして、その人が出来る事を個別に捜して行こうと、いつも職員達に伝えているようだ。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：グループホームの人とデイサービスの人が昼間は一緒に生活しているので、デイサービスの生活空間の方が充実していて便利だ。居室はベッドと衣装ロッカーの他は単調な部屋が多いが、ここは寝るだけの使用なので、あまり気にする必要はない。</p> <p>2、全体的に見て…：2階フロアにあるホームのリビングの大きな窓からは、里山と田畑、所々に民家が見えて、のんびりした気分になる。ホーム横には高速道路サービスエリアへの幹線道路が走り、交通の便も良い。広い敷地を生かして、入り口には花壇や植え込み、裏には畑があり、土いじりを楽しむ土地の確保も出来ている。リビングに面した対面式カウンターの台所やジムショの両側に居室があり、部屋を出ると何となくリビングに来てしまう造りになっていた。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：デイサービスの方で生活すると、体操したり、歌を歌ったり、貼り絵やぬりえを作ったりする事はメニューとして豊富であり、皆一生懸命取り組んでいる。ホーム単独より、こちらの生活の方がメリハリがあって良いと思った。</p> <p>2、全体的に見て…：眠剤や安定剤等、たくさん薬を服用していたDさんは、ホームに来て様子を見ながら薬を止めた。ワンパターンの繰り返しだった会話の幅が広がり、体重も増えて介護度も軽くなった。糖尿の持病があり、酒しか飲まず低栄養で、車イスで自走徘徊していたEさんは、食事コントロールと規則正しい生活をする内に落ち着き、表情も出て来て、好きな事に取り組むようになった。異食・放尿があり歩けなかったFさんは、服薬管理をきちんとしたら、体長が良くなり歩行器で歩けるようになった。ホームの極め細やかな関わりで、良くなった事例は多い。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：特に改善項目は挙げていないが、ホームと地域との関わりについては、地域に対してホーム側からも色々なきっかけを投げ掛けたり、相談したりして出来るだけ多くの関わりを作っていて貰いたい。その一つが運営推進会議の活用だと思うので、少しのメンバーからでも始めて欲しい。</p> <p>2、全体的にみて…：ホームは建物の2階フロアにあり、1階はデイサービススペースになっている。道路を挟んで向かい側には、併設のデイサービス施設と母体法人の事務所があり、同一母体法人全体での連携が取れている。デイサービス利用者とホーム入居者の交流も日常的に出来ている。開設して三年目を迎え、ホームの基盤は出来て来た。これからは地域に向けて働きかけていく段階に入る。運営推進会議の開催等を通じて、出来る事から取り組んでいって欲しい。今後に期待している。</p>		